

〔枕草子〕<sup>五</sup>なまめかしきもの

ひげこのをかしうそめたる、五えふの枝につけたる、

〔胸算用〕<sup>三</sup>都の顔見世芝居

京都にて加賀の金春勸進能を仕りけるに、<sup>中</sup>江戸の者我一人見るために、銀十枚の棧敷を二

間取りて、<sup>略</sup>其後に料理間、さまざまの魚鳥、髭籠に折節の水菓子、

〔天保十三年物價書上〕<sup>上</sup>箆籠引下ダ直段取調申上候書付

一用心籠<sup>壹番</sup>一ト組ニ付

上 當三月直段金壹分ト六百文之處、今般猶引下ダ金壹分ト三百文

下 同斷金壹分ト四百文之處、同斷金壹分ト百四十八文<sup>略</sup>中

右者今般錢相場御定有之候ニ付、引下ダ方取調候處、<sup>略</sup>中 此段奉伺候以上、

寅八月

拾三番組下谷金杉上町

名主 三左衛門

〔攝陽群談〕<sup>十六</sup>名物土産、宿野土器 能勢郡宿野村ニアリ、商之者足附ノ籠ニ入テ荷出ス、

武庫山籠 武庫郡武庫莊ノ土人作之、秣苧落葉ヲ拾フ筐ナリ、山家ノ俗能求之、<sup>略</sup>中

同山湯籠細工 同所<sup>有馬</sup>有馬ニアリ、花生、果盆、烟草入、盆、水漉等、凡テ籠ヲ用ルノ器物好テ令造之、

〔江戸總鹿子新增大全〕<sup>七</sup>諸細工名物

龜井町籠 小傳馬町の北の通、龜井町にて作る、萬籠細工あり、

〔下學集〕<sup>下</sup>器財皮籠

〔類聚名物考〕<sup>調度</sup>皮子 かはご

今思ふに、皮子は加者婆古の婆を略ていふなり、もとは草にて作れるを、竹にて作りしをも、その

皮籠